

朝日カルチャーセンター

立川教室

ルミネ立川 9F ☎042-527-6511



小田富英さん



赤坂憲雄さん

柳田国男生誕150年 その思想

立川

「遠野物語」を著し、日本民俗学の創始者として知られる柳田国男が生まれてから今年で150年。近代日本の歴史とともに歩んだ

「柳田国男が今を生きていたら何を思うでしょうか。民俗学者の赤坂憲雄さんと「柳田国男全集」編集委員の小田富英さんがリレー形式でその思想に迫ります。「柳田国男から現代を考える」★は7月12日と8月2日の2回、土曜3時30分。

地図研究家の今尾恵介さんは大正デモクラシーの時代から日中戦争開始までの市街地図と現在を比較し都市の変貌を観察します。「地図でたどる日本の都市100年」★は7月17日から3回、土曜4時。

5/16(金)より
受付開始

柳田国男から現代を考える

柳田国男生誕 150 年記念 連続講座

講師 民俗学者 赤坂 憲雄、『柳田国男全集』編集委員 小田 富英

今年は、柳田国男生誕百五十年の節目の年になります。ただの節目に終わらせず、近代日本の歴史とともに歩んだ柳田が、今生きていたらこの時代を見て何を想うのだろうかを考えるいい機会にしたいと考え、柳田誕生の日、7月31日を挟んだ2回の連続講座を企画しました。柳田国男を改めて読み直し、皆さんと共に、この国の現在と未来について考えてみる契機となれば幸いです。皆さんのご参加をお待ちしています。(小田講師・記)



第1回「柳田国男の国語と社会科の教科書を読む」 講師：小田富英

柳田国男は、昭和20年8月の敗戦前夜、「働かねばならぬ世」になるとつぶやき、戦後、もう一度教育から作り直すべきと国語科と社会科の教科書づくりにとりかかります。その目標は、「良き選挙民を育てる」で、「わからないことはわかりません」と質問し、自分の頭で感じ考えたことを、素直に表現することの修得を訴えました。現代、その思想は一般化されたかに見えますが、目標は忘れられています。柳田国男監修の教科書を読み直すことで、これからの時代に何を残すべきかを考えてみたいと思います。



おだ・とみひで 東京学芸大学卒。36年間東京都公立小学校教員を勤めた後、作新学院大学特任教授を経て、現在、『柳田国男全集』編集委員、日本地名研究所理事、『地名と風土』編集長、遠野文化研究センター研究員、常民大学運営委員、『遠野物語』で交流を楽しむ会(『遠野物語』交流楽会)代表など。編著：『柳田国男全集』別巻Ⅰ「年譜」(筑摩書房)、『柳田国男自筆 原本 遠野物語』(岩波書店)、共著：『柳田国男伝』(三一書房)、『口語訳 遠野物語』(河出文庫)、『犯罪の民俗学 2』(批評社)、『わいわい学級』(現代書館)、『地域に根ざす民衆文化の創造—「常民大学」の総合的研究』(藤原書店)など。論文：「日本文化研究の一隅に地名の柱を一柳田国男の地名研究の「揺らぎ」に学ぶ」(『地名と風土』第17号)など多数。

第2回「柳田国男『都市と農村』を読み直す」 講師：赤坂憲雄

柳田国男には、『都市と農村』(昭和4年)という著作が存在する。日本の村々には、かつて相互扶助のシステムとして、入会地やユイやタノモシなどと呼ばれるフォークロアが豊かに見いだされた。現代風にいえば、コモンズの日本的な形態である。『都市と農村』はまさに、それを問いかけた大切な著作である。このテキストをいま、現代の視点から読み直してみたい。



あかさか・のりお 民俗学者 1953年東京生まれ。東京大学文学部卒業。法政大学・立教大学などの非常勤講師、東北芸術工科大学教養部助教授を経て、1996年より東北芸術工科大学教養部教授。1999年より同東北文化研究センター所長。現在は学習院大学文学部教授、および福島県立博物館館長。東北学を提唱。1999年雑誌『東北学』を創刊。主な著書に『岡本太郎の見た日本』(岩波書店・ドゥマゴ文学賞)、『東北学／忘れられた東北』、『境界の発生』(ともに講談社学術文庫)、『性食考』(岩波書店)、『武蔵野をよむ』(岩波新書)など、その他編著、共著多数。

日 時 2025/7/12、8/2 土曜 15:30-17:00 回数 2回
受 講 料 会員 7,260円 一般 9,460円
設 備 費 330円 ※入会金・受講料等は消費税10%を含む金額です。
教室受講の会場 朝日カルチャーセンター立川教室(JR立川駅 ルミネ立川9階)

Zoomウェビナーを使用した、教室でもオンラインでも受講できる自由選択講座です(講師は教室)。見逃し配信(2週間限定)はマイページにアップします。

◆◆◆5/16(金)より受付開始(ホームページ掲載も16日から)◆◆◆
お申し込みはホームページからも可能です。オンライン受講や見逃し配信もあります。

お申し込みは3通りから

70歳以上・18歳未満の方は入会金無料
(ご予約時にお知らせください)

1 ホームページで

www.asahiculture.com/tachikawa

- ・詳細はホームページ内のご案内をご覧ください。
- ・ホームページのログインには朝日IDの登録と朝日カルチャーセンターのユーザー登録が必要となります。※「朝日ID」は朝日新聞社のオンライン共通のIDです。
- ・お支払いはクレジットカード(1回払い)のみです。



2 お電話で 042-527-6511

9:45~19:00(土曜は18:30、日曜は16:00まで)

3 窓口で

月~土曜 9:45~18:00 休業日を除く

朝日カルチャーセンター
立川教室
JR立川駅直結

〒190-0012 東京都立川市曙町2-1-1 ルミネ立川9F

